２０２５年度学生評議員任命式

お寄せいただいたご意見の対応状況

キャンパスの環境について

ご意見

川内キャンパスの食堂が工事中で、代替のキッチンカーだけでは不十分。もう少し食べられる場所を増やしてほしい。

回　答

川内南キャンパスでは、文系総合講義棟で営業しております文系仮設売店でお弁当やおにぎり、パンなど、できるだけ多く販売できるよう努めておりますが、今後大学生協とも相談し、仮設売店での販売品目の見直し（食品の割合増）等について検討したいと思います。
また、仮設売店の周囲ホールおよび学生自習用のコモンスペースでの飲食も現在可能としております。文系食堂ほどのスペースの確保は難しいですが、そちらも積極的に食事・休憩スペースとしてご利用いただければ幸いです。工事中ご迷惑をおかけいたしますがご理解の程よろしくお願いいたします。

ご意見

昼休み時の食堂が混雑しており長い時間並ぶ必要があるので解消してほしい。

回　答

食堂で昼食を購入するまでの間が混雑し、長時間並ぶ場合について、12 時～12 時 20 分までは各食堂で混雑しますが、12 時 20 分以降はほとんど並ばずに利用できますので時差利用をご検討ください。なお、10 月以降、生協アプリから事前に料理を注文＆決済できるサービスを試験的に実施する予定です。あおば食堂、もみじダイニングで運用を開始し、準備が整い次第、各キャンパスでもサービス提供予定です。
また、座席確保が困難で、空席になるまで長時間並ぶ場合、川内北キャンパス厚生会館について、テーブル及び椅子を増やしています。厚生会館内の談話室でも飲食可能ですので混雑時にご利用ください。
活用いただき、混雑緩和へのご協力をよろしくお願いします。

ご意見

川内南キャンパスにウォーターサーバーを設置してほしい。

回　答

川内南キャンパスでは、文科系厚生施設の改修工事に伴い、厚生施設内の冷水機が利用できなくなっております。なお、各部局では下記の場所にウォーターサーバーを設置しておりますのでご利用いただければ幸いです。

文学部・・・・文学研究科棟 2 階（学生窓口）※工事期間中設置
教育学部・・・文科系総合研究棟 1 階（入口）※継続設置予定
法学部・・・・法学研究科棟 3 階（学生窓口）※工事期間中設置
経済学部・・・※設置を検討中

文科系厚生施設の改修工事が完了し来年春のリニューアルオープン時には、改修前と同様に冷水器の設置を予定しております。

ご意見

星陵キャンパスのウォーターサーバーが使えなくなっているので復旧してほしい。

回　答

保健学科では、定期的に行っている水道の水質検査で飲用不適と判断されたため、A 棟の冷水機（ウォータークーラー）1 台を含む全ての水道水について、一時的に飲用禁止のご案内をしておりました。

水道管の温度上昇を防止する措置を講じた結果、8 月に実施した水質検査で改善が見られました。9 月の水質検査で再度飲用適合と判断されたため、冷水機本体を最新のものに更新のうえ、10 月 24 日から使用を再開しています。

なお、使用再開までの間、代替のために宅配水（ウォーターサーバー）6 台を設置しておりましたが、これらは現在の在庫が無くなり次第撤去する予定です。

ご意見

体育館の器具が少なく古いため利用しづらい。更新・拡充してほしい。

回　答

体育館の器具については、必要に応じて、メンテナンスを実施して当初の性能が維持できるようにしている他、年度計画で器具を更新しております。また、器具の種類や台数を拡充することはトレーニングエリアのスペース上、利用者の安全確保の観点から難しい状況であるため、ご了承願います。

ご意見

川内南キャンパスの植栽が伸びて自転車通行時に危険を感じる。

回　答

該当の道は市道のため、仙台市に依頼し、8 月 4 日及び 8 月 5 日に植栽の剪定を行いました。今後も仙台市と連携しながら、通行に支障が生じないよう植栽の維持管理に努めます。

ご意見

キャンパス間オンデマンドバスをもっと周知した方が良い。

回　答

本年 7 月に試行を開始したオンデマンドバスについては、本学及び材料科学高等研究所（AIMR）ウェブサイトへの掲載、SNS（X）での発信、関係部局や学生寄宿舎へのチラシの配布やポスターの掲示、学務情報システムによる配信等を行い、周知を図ってまいりました。引き続きより多くの皆様にご活用いただけるよう周知を図ってまいります。是非学生の皆様の間でもオンデマンドバスについて話題に取り上げていただけると幸いです。
https://travel.willer.co.jp/maas/mobi/tohokuuniversity/

ご意見

研究生も駐車場を利用できるよう規則緩和してほしい。

回　答

駐車許可の範囲については、当該場所のスペースや利用者数など、部局それぞれの状況を踏まえて規則を定めております。自動車通学の許可に関しては特別な事情などの理由で対応可能な場合がありますので、まずは所属する部局の事務室にご相談願います。

学習環境について

ご意見

全学教育の授業内容について、高校の学習内容と重複していたり、学習内容の範囲を逸脱したりしていると感じる。

回　答

2023 年度に新学習指導要領に対応するために全学教育 FD を実施しておりますが、引き続き高校の教員経験者やシニア教員にも全学教育科目の学習内容を確認いただき、学習内容の重複や不足を改善する取り組みを実施してまいります。

ご意見

研究機器が不足したり修理していたりすると学部生は研究が自由にできないため、研究設備について支援をお願いしたい。

回　答

多くの研究室や研究分野で共通して利用される高額な共用機器については、全学的な視点から整備計画を策定し、効率的な整備や運用を目指しています。
また、共用機器の更新だけでなく、機器を円滑に利用するためのオペレーション・技術サポート体制の強化にも取り組んでいます。具体的には、博士号取得相当の高度な専門知識・経験を持ったコアファシリティスタッフの充実化を進めており、学生が自由な発想で研究に取り組める環境を整備しています。

ご意見

英語で受講できる授業が少ないので拡充してほしい。

回　答

文科省ソーシャルインパクト事業の採択に伴い、留学生と共に学ぶ全学教育科目の国際共修の授業数を増やしています（2024 年度：65 クラス→2025 年度：82 クラス）。また、2027 年度にはゲートウェイカレッジを設置し、英語で行われる授業数をさらに増やしていく予定です。

学生支援について

ご意見

修士課程学生の研究活動に関する経済的支援（学会参加費・書籍購入費等）を拡充してほしい。

回　答

「グローバル萩奨学金」について、2022 年度より進学を希望する修士 2 年生にも対象を拡大しています。さらに、2026 年度以降は修士課程を主体とした奨学金に制度改正し、修士 1 年生も対象にすることを検討しております。
また、TA 単価については、社会一般の情勢を考慮し、2025 年度に修士課程学生の時給を 1,600 円に値上げしております（2023 年度の時給 1,300 円から+300 円）。今後も社会情勢や業務内容に見合った適正な給与設定を行ってまいります。

ご意見

博士課程のサポート体制がもっと周知されていると、安心して博士課程への進学を検討できるのではないか。

回　答

博士後期課程学生への支援については、本学ホームページでの周知のほかに、学部学生、博士前期課程学生（修士課程学生）を対象にした「博士学生への支援制度説明会」を対面とオンラインのハイブリット形式で実施しております。今後もより多くの学生の皆様に知っていただけるよう、説明会のオンデマンド配信を行う予定です。

附属図書館について

ご意見

附属図書館の自動貸出機を修理してほしい。

回　答

新しい自動貸出機を導入し、12 月中に稼働予定です。
これは、10 月から正式運用するデジタル学生証・職員証に対応する機種となります。
ご不便をおかけしますが、それまではカウンターでの手続きをお願いいたします。